

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>広島市総合環境アセスメントの名称ですが、アセスメントということばは、昨今はよく耳にするようになりましたが、やはり日本語訳をつけるとか、本当は日本語訳なんて少しおかしくもありますが・・・。</p> <p>今、このことについては、国会でももっとわかりやすい言葉とか使うように要請はあるのではないかと思います。</p> <p>日本語を大事に。若い人ばかりではなく、言葉がスーと耳に入り、わかりやすいことって必要ではないでしょうか。</p> <p>平成9年の環境サポーターの講習を受講してから、本日まで広島市の環境についての取り組み情報を送付頂きましてありがとうございます。</p> <p>その時のレポートにも書きましたが、たまたま大学で環境計画を専攻してカリキュラムの中にもアセスメントについての講義もありました。</p> <p>「日本での環境アセスメントは、狭い国土の中で人間社会生活を重視した環境影響アセスメントであり本来の生態学的な、他への影響を最大限に及ぼさない環境計画は不可能である。」と理解しております。</p> <p>今、広島市の総合環境アセスメント（基本構想）を作成されようと努力されておられることについては賛成の意見です。</p> <p>持続可能な社会の構築、限られた資源を有効に、広島市は水は豊富です。その分水嶺からの水資源での流域人口は、まだ増加可能ですか？その人口を支える産業の利用水道量は確保できますか？政令指定都市を格下げされても広島市域での他に影響を及ぼさない、人口での産業構成を考える方が今後の広島には必要でしょう。</p>	<p>アセスメントなど、分かりにくい外来語については、本文では、できるだけ言い換え語を示すとともに、用語の解説で原語などを示しています。</p> <p>また、名称については、わかりやすい名称とします。</p> <p>-</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>持続可能な社会・広島市の総合環境アセス基本構想への取り組みを大いに歓迎します。よく考えられた構想だと感じます。</p> <p>ただ、重要なのは実行していく活動力です。</p> <p>「４．実効性のある市民参加の機会を設けます」とされています。これを重点に開かれた形で進めて欲しいものです。</p> <p>「市民、環境NGO・NPO」の参加は特に、現代は必要不可欠です。市民という素人が、現代では専門家と言われる人より重要な役割を果たす場合がしばしばあります。</p> <p>昨年私は、「広島市環境サポーター養成講座」に参加しました。そこには、参加者が百名近くおられて環境意識の熱気を感じました。広島市民のこういったパワーを大いに活用・活発化して欲しいものです。</p> <p>名称については、「トータルアセスヒロシマ」これなら、おおくの人に内容がわかって頂ける、分かりやすい名称と思います。</p> <p>私が住んでいる藤の木団地近くには、佐伯区のゴミ焼却施設があります。近隣には、産廃処理企業（業者も数か所）あり、小学校などは、直線で200m以内しか、はなれていません。</p> <p>4～5年前に、学校をとうして、問合せた所、数年後に、移転の計画があり、ダイオキシンの数値をさげる為の工事もされるという答えをもらい、工事も行われましたが、子供たちが学ぶ学校近くに、焼却場がある場所など、全国の他にあるのか、考えてしまいます。風向きによっては校舎や運動場、団地に流れる煙に、皆、不安はもっています。夏の暑い夜、窓を開けて、ねるのも、不安です。健康に害をおよぼさない保証はないのですから、団地造成は基より、居住地より、はなれた場所にゴミ焼却施設を建設していただく事を強く、お願い申し上げます。</p> <p>「数年後に、佐伯区のゴミ収集容量もいっぱいになるので移転する予定だが、予定地がないので、さがしている」という答えも、本当なのか、担当者は数年おきにかわるのだから、どうなっているのか、知りたいものです。環境に配慮する、イコール市民の安全や健康を守る、行政を期待しています。</p>	<p>ご提案の名称を参考に、分かりやすい名称とします。</p> <p>-</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>環境というのは、ゴミ処理から大気についてまで幅広くいうのに使われておりますが、人の居住の地域ということですが、ゴミ処理はやはり毛嫌いして遠くに作るより害のない形でキレイにゴミ発電を近くでしてみる位にした方が意識が向上すると思います。</p> <p>また、環境につきましても、人の居住地には人が住むだけ寝るだけというのはやっぱりよくなくて公園を造っておくとか、歩きやすい道路をつくっておくとかしなくてはいけませんでした。また必ず公共の施設やスーパー、学校があるようにして、つぶれないように財政支援もする位にしなくてはいけません。</p> <p>その財源として、すぐ税金として産廃目的税とかがでてきますが、生活の一つのサイクルなので一般税としてとって、その一部として使うとか、もう税金や市債で市の財政をまかなっていると行政の仕事はこれからニーズが増大するばかりなのでやっていけないので、市が地域マネーを発行して市の仕事や役人の給料はそれでまかなうとかしていった方がいいとおもいはします。</p> <p>しかし意識が大切で、昔は公園の清掃や自分の会社のそうじは、自分でしていたのに今は業者まかせであり、自分のまわりは自分できれいにする位でないとゴミについて人のいやがる所をさがすとかいう風になってしまってよくないとおもっております。</p> <p>環境劣化の問題は誰でも注視するが市民は利己的である。道路が出来るのは便利であるが騒音排気ガスが体に悪い、家は清潔にしたいがごみ処理は遠くに設置してくれ近くなら反対だと。環境問題は最優先である。</p> <p>事業の基本方針や整備方針の決定段階では、市民に公表されないのだから反対はない。しかしこのプランが具体化し施策段階に進むと賛否が分かれ変更や中止ができる。設置予定地域市民への必要性、環境説明等の不十分さであろうか。早晚、環境の悪化が始まるとの恐れから、全市民のために犠牲になりたくないと思う。世界でも、この不安は既設施設の管理不十分による環境劣化に基づく事が多い。建設時は最適レベルの施設であっても、運用稼働上の管理不十分による事故がおこる事例は多々ある。</p> <p>施設建設にあたり地域への事前説明の必要条件とはなにか。この条件とは施設</p>	<p>-</p> <p>-</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>運用を地域住民に任せることである。整備の計画段階から地域住民に参画してもらい、運用を委ねるための条件割り出しを協議する。</p> <p>行政側は施設をリースで地域セクタに提供すること、技術面の指導および事故時の責任を負うことを条件とし運用を地域セクタに委ねる。地域人の施設運用で責任を持つことにより事故発生防止に役立つ実例がある。</p> <p>ごみ問題についての民間の処置は明確である。方針と対策は、ISO14000に基づき標準化マニュアルで実施する。計画段階、実施中ともアセスメントを詳細に策定のうえ、その評価を専門の第3者機関に委ねて会社の取り組みと品質レベルの程度を公正に判定させて顧客獲得戦略に利用する。</p> <p>それには詳細計画の段階から会社トップの基本方針に沿って、周辺地域への環境配慮とPRを盛り込んでおり、周辺地域への事前説明等社会の眼には特に気を払う。地域市民との対立は社会の存亡を脅かすことを知っており、会社が孤立してはならないと常に注意を払っている。ISO14000の手法は会社とその顧客だけ良い子であることを評価しない。</p> <p>行政がISO14001を取得しているところは未だ少ないが、市は戦術として採用することを検討しないのであろうか。最初の整備方針策定と、問題発生時の処置と責任は市が取り、中身は手法を熟知した民間の業者に委託することを検討してはどうか。民間業者には、必ず地域とのコンセンサスを取るということと、守秘義務の条件をつけて、行政側は作業のステップ毎に公正な第3者機関との共同監査に携わるだけとすればコストも下がる。</p> <p>このように上記2点の案を検討され、個別の施設建設に配慮されるよう具申いたします。</p> <p>広島市総合環境アセスメント基本構想（案）は、広島市の環境保全に対する今後の取り組みをどのような形にするか戦略が示されており、あらためてその重要性を認識した。現在の環境問題は、昔の公害問題と異なり原因が複合化、グローバル化してこれという特定が難しいのが現状だと思う。地球の温暖化現象などはその際たるもので、人間の消費活動だけが原因だとはいうことができない。もっと地球の生態系に根ざしたものの例えば地殻プレートの動きとの因果関係はない</p>	<p>-</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>のか、海流変化との因果関係はないのか、など自然現象を含めた様々な側面から分析していかなければならないだろう。</p> <p>広島市が環境を考えた街づくりを推進していくのであれば、広島市の将来にとってプラスに働くと思う。だが、環境をとるか経済性を取るかというのは現実的ではない。今、企業は環境への配慮を抜きにして経営方針を立てることなどできない。それを無視することは企業にとってマイナスになるからではなく、環境に配慮したものを作るほうがプラスになるからである。もちろん当初はコストが割高になるかもしれないが、将来的には製品コストが割安になる可能性が高いからである。例えば、日本中の隅々まで行き渡ってしまったペットボトルなどはその良い例だろう。業界ではいま真剣にペットボトルの再利用システムを作ろうという考えがある。いままでは、使い終わったペットボトルは燃えないゴミとなって処理されていたが、切り刻んで何かの材料にするよりそれを再利用し、何回でも使えるようにしようというのである。そのほうが、新たに原料から作るより経済的コスト、環境への負荷が少なくなると判断したからである。</p> <p>広島市においても個別事業の計画から環境アセスメントを考えるばかりでなく、同時に政策面からも環境アセスメントという概念を取り入れたほうが良いのではなかろうか。そのほうが結局は事業コストが押さえられると考える。環境と経済効率を決して相反するものでないことを意見として述べたい</p> <p>1 要約</p> <p>現行の環境アセスメント制度を見直し、戦略環境アセスメントや計画段階アセスメント手法を取り入れ、環境への負荷を軽減する方向へ改善するこの案に賛成です。</p> <p>環境アセスメントは、事業者の立場でなく、負荷を受ける環境・住民の立場で検討評価するものと考えます。現行の環境アセスメントは、評価書作成者や評価書審査者の責任が明確にされておらず（事後評価の実施を義務付けていない）、無責任体制が継続しています。今回、基本構想を見直すに当たり、事後評価の実施義務を明記されたい。</p> <p>特に、市が自ら実施する事業で先駆的な取り組みをすることは、試行ガイドラ</p>	<p>当面、広島市自ら策定する計画等にうち、環境に影響を及ぼすおそれのある個別事業の計画を対象としています。運用実績を積み重ねながら、将来的には、政策・上位計画等も対象とするよう考えています。</p> <p>本制度の後に行なわれる、現行の環境アセスメント制度において、事後調査を義務付けており、必要に応じて、事後評価（再評価）が行われるものと考えています。</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>イン策定上から、また早期本格運用上からも必要です。</p> <p>2 個別事項</p> <p>第2章 新たな環境アセスメント制度の構築</p> <p>3 ページ 広島市総合環境アセスメント制度（仮称）では、環境面だけでなく、社会・経済面への影響を関連させて評価すると記載されているが、計画等の意思決定プロセスとの関係では環境アセスメントの位置づけは分離されている。（資料28，29，46ページ）新総合環境アセスメント制度での範疇はどこまでなのか。</p> <p>第5章 調査・予測・評価の在り方</p> <p>環境面への影響と社会・経済面への影響…</p> <p>社会・経済面への影響評価は、事業者サイドでなく住民サイドで検討することが必要である。（資料8ページ表1 - 10の評価項目・経済性は事業者サイドである）</p> <p>住民サイドから社会・経済面を検討すれば、例えば地域イメージへの影響、近隣土地価格との較差などが考えられる。このことから迷惑公共施設の建設は、ゼロ案が最良で、永久的施設を1ヶ所に集中させない配慮が必要となる。</p> <p>環境面において、累積的・複合的影響の調査・予測・評価を…</p> <p>11ページ「3 累積的・複合的影響の予測・評価」では調査が削除されている。</p> <p>現行の環境アセスメントで累積・複合的な影響はバックグラウンドデータとして予測に取り入れることで部分的に対応してきたとあるが、この実施地域で環境評価の事後評価（フォローアップ）を実施し、その評価精度を検証されたい。</p> <p>特に、西風新都のような大規模開発では累積・複合的な評価が必要である。（平成11年豪雨災害の要因分析を行い対策を取らないと再発生のおそれがある）</p> <p>第6章 参加する主体の役割</p> <p>各主体の役割は記載されているが、責任が記載されていない。特に、学</p>	<p>本制度は、計画等の意思決定プロセスに環境に関する情報を提供するものであり、計画等の策定者は、この情報に配慮して計画等を策定するものと考えています。</p> <p>社会・経済面についても、計画等の策定者は、市民の皆さんの意見を聴きながら、検討するものと考えています。</p> <p>「調査」を加えることにします。</p> <p>また、事後評価については、現行の環境アセスメント制度では、事後調査を実施し、必要であれば、再評価を行っているものと考えています。</p> <p>各主体の責任については、各主体の役割を果たすことと考えています。</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>識経験者で構成される審査会の審査責任を明記されたい。</p> <p>直、この基本構想（案）に関する審査会は3回開催されているが、16名の委員の内、皆勤委員は6名で、出席者が少ないと思う。</p> <p>1 広島市総合環境基本構想（案）の全体評価</p> <p>昨年末の広大公開講座の中で、広島市で画期的な環境アセスメントを作成中との紹介であったので楽しみにしていた。しかし、残念ながら、今回公開の基本構想（案）の評価は、かつて建設省や電力会社で大規模開発をするために自然・環境への免罪符として実施していた環境アセスメント（夏季と冬季の大雑把の生態調査で、対策はウルトラミニ自然園程度）の範疇の域を飛び出ておらず、また、これまでの環境庁作成の法案のたぐいと同じで、夢や希望からなり美辞麗句が多く、エリートの作文で実行力・強制力を伴わないと、私は思う。広島市の基本構想案は、住民参加や計画アセスメント項目に類似したものが入っているが、形ばかりのもので、実行力があるシステムまで形成されていない。今となっては時代遅れの基本構想案の内容と思う。</p> <p>大学の先生を中心とした委員会での新たな仕組み（大学の先生は既存の仕組みには強いが、現業をあまり知らず、視野が狭く新たな奇想天外の発想力に欠ける人が多い）を構築するのは限界があるのではないか。まず、環境局でこれまでの環境に関連する広いキーワードを選択 キーワードに関連する事に関して、全ての広島市役所職員・臨時職員・先生・公民館・アルバイト（他部門に関しよく見えるはずである）に記名入りでアンケートやアイデアを募集する。</p> <p>この中でユニークな意見をもち、環境に意欲ある人に委員（現業と兼業でITにより会議を開く）になってもらい環境に関連する課題・選択について取り纏め 一般市民に公募・公開討論を繰り返す。 最終的な取り纏め。</p> <p>次世代に残す環境に関しては、全職員・一般市民で対応するようなシステムになって欲しい。</p> <p>2 基本構想に盛り込んで欲しい項目（私記）</p> <p>条例や制度は、新たな施策を実行する補助手段の力を持つべきで、A環境のモニタリング方法、B何が課題で、C何をどういう方法で実行、D資金やパワ</p>	<p>また、審査会での検討については、欠席された委員からも文書で意見をいただいた上で、審議しています。</p> <p>基本構想については、市民意見、庁内意見を聴きながら、環境影響評価審査会で審議しています。</p> <p>今後とも、様々な関係者に意見を聴きながら、本制度が効果的かつ実効あるものになるよう努めます。</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>一の源、E誰が評価するか等が具体的に分かり易いものにして欲しい。</p> <p>市財政の余裕のない現在、生態系保護には、ITによる積極的な情報公開により、新たな財源と地元の住民や組織の参画を確保する必要がある。大学や各研究機関の現地での市民参加での指導・実行を期待する（特に若き学生の現場での実践と卒業後も広島に残留を期待する）。これまで地域の活動に無関心であった親父やサラリーマン、学生や社員に地域環境保全に義務を与える。都会の人が暇な時、山や里山で野外作業をすることは、辛く苦しくともレクリエーションとして楽しい事で、里山の受け入れ体制を整えると、環境保全の多くの労力（市役所の職員だけでは何も出来ない）が期待でき、これらを有効に利用できるシステムを構築する。</p> <p>基本構想に盛り込んで欲しい項目は、次の通りである。</p> <p>生態環境、自然・人工（歴史）景観の個々に経済的評価を与える基準書を作成する。</p> <p>例えば、地域でホタル、トンボ、ドジョウやメダカの生息が維持、または、回復したならこれらの生態系に 万円/m²の評価とし、ハード構造物を計画時に、構造物だけでなく生態環境・景観の損失・回復もコストアロケーションの対象とする。構造物の建造・維持費と利便性と、それに伴う生態系の喪失を金銭的に対比する（生態系の客観的評価は難しいが、主観的評価でもその形成の場を明らかにしたものであれば、それなりに使えると思う）。里山に対しては、竹藪から山の木を保護したり、下草や、枝払いをするとCO₂の吸収量が増える事による評価もする。</p> <p>又、里山や棚田の復旧や保全に対して、これまで、これらから生み出す生産物に対し、ほとんど経済的価値がないので荒れ果てていくままであったが、生態環境や景観に公平な金銭的な評価を与えて、これらに要した労力に対して市からの補助金やボランティア資金が出るシステムにする。</p> <p>地域の生態環境・景観は地域で守るために、役所だけでなく、住民、店舗、会社や学校等の地域にある全ての組織・住民に生態環境・景観に対して保全の責任・義務の一端を負わす。その方法として広島市内の環境保全・福祉・地産地消だけに使用できるお金：環境券のシステムが出来ないであろうか。</p>	<p>社会・経済面の評価については、今後、運用実績を積み重ねながら、ご意見を参考にし、その手法を検討します。</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>地域の住民、学生、会社員等は毎日地域の生態環境・景観を一番感受出来る立場の人達だが、地域の人々（特に親父やサラリーマン、学生）は生態環境の中心にある川、道路や里山は役所と所有者が管理するとし、通行等の利便性に支障があったとき役所に苦情を言うだけで、遊んだり生態系の保全活動を全く実施せず、普段は遠望から見るだけで生態環境や景観に対して余りにも無関心すぎた。普段の休みはごろ寝をしている人が精神のリフレッシュや健康回復さすためにも、環境保全に有効に使える環境券システムを作りたい。環境券システムは次の通りである。山、川の管理者（国土交通省、農産省、民間）は、原則として荒地化の状況に応じて に示す生態環境情報センターに環境券費用分を支払う。山、川、道路等ボランティアの仕事がある場合には、生態環境情報センターでボランティアの手配を行う。各ボランティアは、仕事に応じて環境券（市バスやJR、地域の生産物が購入できる）で支払を受ける。里山の持ち主で、山の手入れをしたい人は、 に示す環境ケアマネージャーに環境改善に伴う環境券の費用を出してもらい、生態環境情報センターにボランティアの依頼をする。仕事の終了後に、環境ケアマネージャーに現地の検査をしてもらい、各ボランティアに環境券で支払をする。地域の学校、会社も環境税を現金または環境券での支払い、または、ボランティアの労働により得た環境券で支払う。</p> <p>間伐材、枝払い材や除草がバイオマスエネルギーや堆肥に利用できるプラントを官民上げて作り、これらから出来る生産物の価値を上げる。里山・田舎の保全・開発に資金を生み出し労働や交流の場を作り、都会と田舎の共生や地産地消を図る。</p> <p>ITを利用して情報の共有化を図るため、生態環境情報センターを設置して環境に関連する情報を収集・解説で積極的に発信する。地域の開発では一般市民の意見収集や、プロポーザル形式の参画できるシステムとし、多くの情報収集・公開討論の場を設ける（各役所だけではなく地域の住民や会社・学校等の組織の初期段階からの計画アセスメントの参画をさす）。各工事・作業（行政・民間のも含めて）の進捗状況や環境への影響について、経時的に公開する。</p>	<p>環境情報の収集・公開については、ご意見を参考に、今後、市民参加が積極的に促進されるよう検討します。</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>国土交通省・農産省・各公団、広島市役所、広島県庁等の役所や各大学、研究所や民間の研究機関・NGO等の協力で生態環境情報センターを設置（このための専用の箱物は作らず既存の施設の空きや大学の片隅を利用し、専任の職員は出来だけ少なくし現職との掛け持ちで各研究者との連絡・議事をITでし、お金をかけないで多くの人の協力でする）する。情報の収集とそれらを解説や計画アセスメントの選択枝について素人にもわかる内容としたものを公開する。計画アセスメントは、初期の段階からプロポーザル形式で一般の人でも参画できるようにし、最終審判は住民投票も可能とする（市長が全ての課題に最終審査するのはおかしい）。</p> <p>生態系保全のボランティア・環境ケアマネージャー、環境NGOと各専門分野別の個人登録を生態環境情報センターで行なう。ボランティア、環境ケアマネージャー、環境NGOの育成を、生態環境情報ネットワークを利用して、大学等の公開実習講座として行い、認定を受ける。里山・川等の環境保全・修復のボランティア・NGO・各専門家の募集情報の発信を行い、保全・修復後の評価を生態ケアマネージャーがする。</p> <p>広島市では環境サポーターを育成しているが、登録をしている人は300人を越すといわれているが、残念ながらこの活動状況は、環境保全に実働している人は少なくその内容は、小・中学校の理科クラブに毛が生まれた程度で、もっと本格的な訓練や講習及び継続的に実働が出来る組織づくりが望まれる。</p> <p>生ゴミの地域でのリサイクル</p> <p>一般住民が環境へすぐ貢献出来、その効果が絶大な事は、各家庭での生ゴミのリサイクルである。生ゴミが堆肥・土壌改良剤にリサイクルされ、地域の公園や道路脇の緑化帯に利用されるようになると、地域住民の皆が環境の保全に関心を持つようになり、安い費用で地域の環境改善が進む。生ゴミの堆肥化での鍵は生ゴミを新聞紙に包んで生ゴミの含水比を下げることである。生ゴミの含水比が下がれば、悪臭が少なくなり発酵がスムーズになる。ゴミサポーターや大型のゴミ処理機が導入できれば、生ゴミのリサイクルの活動に参加しない人がいる集合団地でも生ゴミのリサイクルが可能となる。</p>	<p>-</p> <p>-</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>市が集めるゴミも、臭い生ゴミが少なくなるので、残りの無分別ゴミを有料化し、分別してコンポストに出すものを無料にする。コンポストが一杯になってから集めにくければよいので、ゴミ収集システムを根本的に変え、安い方法で分別収集が出来る。プラスチックや他の種類のゴミもリサイクルが進むと思う。</p> <p>産廃の生ゴミは、現在では法規制が掛けられリサイクルが進んでいる。家庭ゴミは今でもタダでゴミとして廃棄出来、市役所では、これらを燃やし残った灰を最終処分場に埋めている。この方式が大きな課題を抱えている事が明らかになってから 10 年以上経過し、他都市（山形県南陽市、埼玉県桶川市等）では生ゴミのリサイクルが始まっているのに広島は遅れている。</p> <p>環境モニター地の設定</p> <p>生態環境がどのように変化しているか、公的なモニター地はまだ広島にはない。お宮・お寺や学校跡地、廃田に環境モニターを設置し、近くのボランティアに気象や樹木、昆虫、カエル、魚、小鳥等の生態系の記録や写真をとって次世代の人へ残して欲しい。千田町の広大跡地も無用な箱物を作るより次世代に残す環境モニター公園になれば楽しいと思う。</p> <p>私は以前、自然観察会に何度か参加していました。その時よく感じるがありました。それは、指導員の方が、どこにでもあるような植物は何回も何回も説明してくれます。ところが、めずらしい植物になると私たち素人にはわからないようにこそと指導員同士で合図して私たちが質問しないように急いで通りすぎようとしている感じがするのです。興味のないものは何度聞いても覚えられないのでそんな風にされても仕方がないのですが、珍しい植物を教えると後でまた来て盗掘するから素人には教えられない、などと言う言葉を聞くと自分たちはどんなに偉い人達だと思っているのかなあと思います。それに「もって帰っていいのは写真だけ」といいながら枝をボキボキ折り、葉っぱをむしりとっても研究の為ならば許されると言っている人達、なんかおかしいと思いませんか。</p> <p>学校を作るとか、何かが建つとかが決まり山を崩し、さあ整地というときになって、あそこには何がある、これがある、といい始める。珍しいものがあることを</p>	<p>-</p> <p>-</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>隠そうとしていた人達がテレビに出て発言し始める。これって変だと思いませんか。</p> <p>何の話も出ないときに、地域の自治会、女性会、老人会、体協、サークルなどがNPOを立ち上げて、私たちのこの地域、この山この川にはこんなものがいて大切に守っていきたいので、レンジャーとなることを認めてくださいと申請をして認められたら、助成金をだすぐらいの制度があってもいいのではないですか。</p> <p>今 疑問に思っていることがもう一つあります。広島市を少し過ぎて郡部によく昭和40年代に作られた団地が廃墟のようになっています。そこには家が建っていないのに、まだ広島市内の山を削って団地を作らなければいけないのでしょうか。市内を歩いても空き家や空き地が目立つのですが、それでも埋め立てをしないと土地が足りないのでしょうか。</p> <p>環境への負荷が少ない町と自然の触れ合いのある地域への実現を</p> <p>環境問題はゴミ、生活排水、自動車排気、騒音、大気汚染、などが発生する都市型公害と直結している。一人の市民として、一人の生活者として、このあり方が問われている。その地域で環境を見て、考え、自然を直接に感じて地域を環境から守らなければならないと思う気持ちが必要だ。そこで生活をしている住民でないとわからない事柄が多くある。同じ地域で、生活していても関係なければ近隣者でも遠くの事として見ているだけの傾向が往々としてある。それでは、安心で安全な住み良い町にはなりえない。一人一人がもっと環境に感心を持ち自分の立場に置き換えて取り組むことが必要だ。そのため、一つの考えとして次のことを取り組んではどうだろうか？</p> <p>住んでいる地域の環境は便利で快適であるか、安全で自分達の健康を保つのに良いか、自分達の身の回りの環境や自分自身の行動を自分自身で診断して見る事が大切である。日常生活をする上で健康で安全な環境であるかをそれぞれ一人一人がチェックし、それなりに簡単な記録を取って診断を試みる必要があり、又、企業側も一個人に置き換え実施してみる必要がある。自分が住んでいる地域を、自分自身で、又、行政、住民のグループの人達で目と足と心で感じたままを記録し、色々と点検して、一つの地域に置かれた実態環境の地図を作成するのも良い</p>	<p>-</p>

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>と思う。</p> <p>そうすれば、[何が今]この地域では問題かが、行政だけの判断でなく、住民側も企業側も理解されるものと予想する。一人一人が参加する事によって環境保全への自己意識が高まり、環境改善に積極的な参加が期待できると思う。</p> <p>一例として、周囲をみると過去（最近少なくなった）農村地区で、住居が殆どである中での農地を農地転用し、小規模の工場や倉庫が、周囲に内容が、わからない間に多く建設されていた。業種や業務目的にあった建築構造になっていない建造物も有る。建物内で業務内容が当初の利用目的から色々と変わり、事業者も入れ替わりで、現時点での実態が把握されていないものが多い。特に、賃貸式工場の場合に、又騒音、塵埃、汚水、等についても借り物、借りの場所で、対策も対応されないのが実体です。又他方騒音と共にガラス繊維を加工する工場も有り、ガラス繊維の粉じん又塵埃等加工機械に付着又工場内に散乱したものを、終了時工場の窓を開けてエアガンで屋外に吹き飛ばす除去掃除されており、粉じんが大気に浮遊し、近隣の田畑の野菜に付着しないかと心配しております。又人間が吸い込むと、どうなるのでしょうか。特に夏場は激しい。</p> <p>その他、早朝からの無造作なシャッターの上げ下げ、トラックの警音等と、住む住民の環境に配慮のない業務活動は理解しがたい。</p> <p>これらに対する改善をもうしたと、この条件で借りた、家主は管理会社に任せていると、自分の利益のみの対応、なかなか共生するための解決が見いだせない。</p> <p>業種によっては環境に影響を与える事を我々より知っていながら、平然として業務をおこなっている事業所もある。以上のような一例もあり、その地域に住み、生活をしていないと日常の出来事が多くわからない事がある、我々一人では十分理解出来ないため、その地域の住民と行政が一体となり現在の実態調査を試みる必要がある。</p> <p>以上私の体験を通じて次の事柄を行政に対応して頂きたい、建築物、施設等の建設にあたり役所に対して建築許可申請書届業務等がありますが、建築、建設予定地が判明した時点で、その事柄を速やかに情報公開をし、その地域に住む住民、周囲の地権者に知らせるとともに建築課だけの課でなく環境を担当する課等と</p>	

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>共に一体となり、そのものが目的にあうか、色々な環境に配慮されたものが等々を議論しわかりあえるものにする必要がある。</p> <p>経済活動が優先するのが先かもしれないが、問題と納得を残しながら出来あがった後ではどうすることもできないことがある。環境問題を考えた時、住みよく、安全で健康的な自然が工場等と共生していく為には、町作りのスタートが肝心だと思う。</p> <p>又、旧市内外の地域で農地であっても用途地目が準工場地区になっている地域内で、現実には住居が殆どありながら準工業地区の用途地目になっている事が一つの問題を引き起こす要因である。現状に置かれている状態を見極め判断し、又アクセスの生活道路も含め用途地目変更の見直しが必要と思われる。特に住居等が多く、農地等も点在する場合は自然環境はない。現にそういった地区での騒音、粉塵、汚水、ゴミ等の環境問題のある工場と共生していく為には、色々な対策を許可権者の行政をふくめ検討しなければならないのではないかと思う。検討の中には今日迄のこの地域の歴史的背景も考慮しなければならない。</p> <p>特に、賃貸工場は利殖目的で建築された物件が多く、構造が簡単な内容になっており、外部周辺に対して配慮されていない建物であるため、騒音、粉塵等の環境問題が発生する。設立時期と現在の業務内容実態を調査し適合しているかどうか検証し行政も把握する必要があるのではないか。検証の内容の結果により、行政側からのご指導をお願いしたい。</p> <p>以上のような事態が現状であります。</p> <p>小さな地域で小さな出来事ありますが、これ以上人間にも、環境面でも負荷のかからない場所を維持していかないと、益々安全で安心して暮らせる場所はなくなって来ます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 認可権者の行政は許可をする前に周辺の住民及び地権利者に情報を速やかに連絡すべきである。 2 用途地域の地目が書類的に適合している場合であっても、その地域の現状がどのように形勢されているか、当面でなく持続可能な住む場所としての考慮を入れてどのように環境に影響をあたえるかも検討する必要がある。 3 用途地域の地目も柔軟に現状に合った地目変更するべきである。其の地域 	

総合環境アセスメント基本構想（案）への市民意見等

基本構想（案）への意見等	対応方針（案）
<p>の現状を現時点より環境状態を悪く成らないように出来る。（準工業地域を住居地域に）</p> <p>4 身近な環境に関連する実態を、住む住民がもっと感心をもって知る為には、自治会、町内会において行政の指導の基で組織内に環境という文字をかかげて部会の創設をする事により、市民一人一人が環境ということばに馴染み幅広く意識改革が出来ることと予想する。</p> <p>住民一人一人が情報のアンテナショップとなりその地域をもっと知ることにより問題になることを未然に生み出さないように努めることもでき、ある場所によっては、共に共生するために知恵を出せるはずである。一人一人が感心を持ち参加する事にある。</p> <p>5 許可権者は許可をした事柄により双方に問題が発生した時は、責任をもって善処の対応する事、担当期間は波風たてないような対応の処理の仕方は改めてもらいたい。安心して暮らせる、住む住民のことも考慮に入れてほしい。</p> <p>6 小さな地域で、こまかい事柄かもしれませんが、住民の住む場所にも環境アセスメントの手法を取り入れることを要望致します。</p> <p>今回の環境アセスメント制度の意見に沿わないと思いますが日頃より、みじかに感じていますので、この機会に何か良い対策は無いものかと、思っている事を述べさせて頂きました、失礼な点はお許し下さい、又ご指導の程お願い申し上げます。</p> <p>環境問題は、おもに工場等の関係が多くとりあげられていますが、一般庶民の生活の中に入りこんでいる環境問題こそ毎日日常の中に困っていることが多い。切にとりあげてほしい。</p> <p>環境110番を設置していただきたい。</p>	<p>-</p>